



クニマッスン
出生地 忍野村
山梨県水産技術センター
□癖 でまっすん..



ふじのだいがこうざえもん
富士大我講左衛門 年齢不詳
職業 大我講の先達
(先達とは富士山案内責任者)

『講左衛門さん、今日は大我講の石碑の話でまっすん。石碑と言え
ば、忍草にある民宿原の家に「大
手引き石」があるでまっすん。こ
の他にも、大我講の石碑はあるで
まっすん?』

『富士吉田の浅間神社の隣にある扶桑教の境内に
は、様々な富士講の富士山登山記念の石碑があるん
じゃよ。その中に、大我講の石碑もあるんじゃ。ま
た、八合五尺にある「亀岩八大竜王」の碑は、大我
講の石碑だと思われるんじゃ。残念なことに、大我
講の石碑だという証拠はないんじゃよ。しかし、東
円寺には、亀岩八大竜王と書かれた掛け軸が残され
ておるんじゃよ。忍野村では、忍野八海や大我講の
調査に入るようじゃから、是非調べてほしいのう。』

『そんなにたくさんの石碑が残されているなんて、知らなかったでまっすん。』

『まだまだあるんじゃよ。大寄友右衛門が住んでいた市川三郷町（旧市川大門）の古城山や、四尾
連湖にも大我講の石碑は多く残されておるんじゃ。四尾連湖にある石碑には、友右衛門の偉業に対
して、輪王寺門跡からお褒めの言葉を賜ったことが残されておるんじゃよ。遠くは、埼玉県にも石
碑はあるんじゃ。何より驚くことは、富士宮市にある人穴には大我講の講中のために、石碑の道標
があり、その先には、大我講の石碑と、大我講だけの人穴が現在も残っておることじゃ。』

『人穴と言え、富士講の修行をするところでまっすん。本当に大我講の石碑はあるでまっすん?』

『人穴は、不眠不休で富士講独自のお経のようなものを唱え続ける修行をする所なんじゃよ。そこ
で修行した人の中には、亡くなられた方もいたんじゃ。その人たちを即身仏と言ってな、生きたま
ま仏になった尊い人だとあがめられたんじゃ。そのような人々の名前が刻まれた石碑が数多く建っ
ておるのじゃが、大我講の石碑は、その場所から少し離れたところに、ひっそりとあるんじゃよ。
富士宮市のホームページには、大我講の道標「浄土道」と書かれた石碑を紹介しておるんじゃ。』

『おいらも行ってみたいでまっすん。その石碑は誰が守るでまっすん?』

『そうなんじゃ。今ならまだ、石碑の字も読むことができるんじゃが、これから年数が経てば経つ
ほど劣化してしまう。昔のことを覚えている者もいなくなってしまうじゃろう。何とか、守る方法
を考えなければ、忘れられてしまうんじゃよ。』

『講左衛門さん、おいら大我講のことを調べて、皆に知ってもらえるように頑張るでまっすん。』

『よろしく頼むぞクニマッスン。次回は、大寄友右衛門の残してくれた掛け軸について話をしよう
かのう。掛け軸は、東円寺だけではなく、原の家にも残されておるんじゃよ。石碑も掛け軸も、そ
のの一つ一つが大切な証拠なんじゃ。多くの人に伝え残してもらいたいのう・・・』